

第5回 宇治市乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会会議録

日 時 令和4年8月18日(木) 午後6時～午後7時5分

場 所 宇治市役所8階大会議室

出席者

委 員 佐川委員長、大方副委員長、杉本委員、松井委員、篠原委員、
好田委員、西川委員、藤田委員、中西委員

事務局 松村市長、岸本教育長、北尾教育部長、上道教育部副部長、林口教育支援センター
長、金久教育支援課長、吉川学校改革推進課長、平山同課主幹、垣見学校教育課主
幹、福井福祉こども部長、柏木同部副部長、川崎こども福祉課長、栗田保健推進課
長、須原保育支援課長、鶴谷同課副課長、山本同課計画係長、上田同課管理係長

会議内容

1 開会

・事務局より、会議の成立確認報告

委員長： 続きまして、前回の会議の内容と今回の会議の進め方につきまして、委員の皆様
に確認していきたいと思います。

それでは、まず前回の会議の内容について確認したいと思います。

前回の会議では、意見書(案)につきまして、その内容を確定するための検討を
していただきました。

その後、パブリックコメントの進め方及びアンケート調査結果について、事務局
から報告を行っていただきました。

なお、前回の意見書(案)の検討の際に多くのご意見をいただきましたことから、
委員の皆様には事務局を通じて再度修正案を送付し、修正案に対するご意見等を
いただいたことにつきまして、改めまして感謝申し上げます。

続きまして、今回の会議の進め方について確認したいと思います。

今回は、令和4年7月15日から8月13日にかけて実施しました意見書(案)
のパブリックコメントにつきまして、意見書(案)に対する市民の皆様からの意見
募集結果を事務局から報告していただきます。

その報告とともに、市民の皆様からの意見に基づき、意見書(案)の修正が必要
な箇所について、事務局で示していただいた修正案をベースに意見書の内容を確
定するためのご検討をしていただきます。

その際に、市民の皆様からの意見に対する考え方のところにつきましても、ご意
見等をいただければと考えております。

以上のとおり進めていきたいと考えておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

異議なし

2 パブリックコメントの結果報告及び意見書（最終案）について

・事務局より「宇治市の乳幼児期の教育・保育の今後のあり方に関する意見書(案)」に対する市民の皆様からの意見募集結果、宇治市の乳幼児期の教育・保育の今後のあり方に関する意見書（最終案）、パブリックコメントに伴う意見書（案）の修正箇所について説明

委員長： ありがとうございます。それでは、ただ今の事務局からの説明を踏まえ、委員の皆様からご意見等がございましたら、ご発言いただきますようお願いいたします。
考え方、意見書の修正内容等、何でも結構ですので、ご意見等をお願いします。

委員長： パブリックコメントに伴う意見書(案)の修正箇所のところで、2つ修正箇所があったかと思えます。

まず、1点目の1ページ2段落目のところで、虐待の増加のことについて記述いただいておりますが、家庭の教育力の低下については、全て家庭のせいだけではないと思えます。時代や社会の変化によって子育て家庭の孤立化などが原因にあると思えますので、「子育て家庭の孤立化による虐待の増加など」に文言を修正していただければと考えております。

次に、2点目の3ページ【地域や家庭、施設の連携の観点】のところで、修正後の2つの意見のうち、下の意見のほうが優先順位としては先にあると思えます。下の意見を受けて、上の意見のとおり「市全体で共有する」ことにつながっていくと思えますので、上下の意見の順番を変えていただければと考えております。

事務局： ご指摘のありました、パブリックコメントに伴う意見書(案)の修正箇所 のところですが、多様化と孤立化が対になって聞こえてまいりますので、「さらには子育て家庭の孤立化などによる虐待の増加、保護者の就労形態の多様化など」と順番を逆にさせていただいてよろしいでしょうか。

委員長： はい、よろしいかと思えます。

委員の皆様お一人ずつご意見をいただいてもよろしいでしょうか。

委員： パブリックコメントを読ませていただいて、公立幼稚園のニーズの高さがすごくあることを痛感しています。ただ、今回のあり方に関する意見書には公立幼稚園のことだけを載せているのではない状況の中、市民の方々からのニーズの割合がど

う釣り合っていくのか。うまく釣り合っていければ、宇治市で子育てしたい方がたくさん増えてくるのではないかと感じました。

委員長： パブリックコメントでも公立幼稚園に関する意見がたくさんあったかと思いますが、その全てを意見書に反映させるのはなかなかできないと思いますが、宇治市・宇治市教育委員会の皆様にはぜひ意見を丁寧に読んでいただいて、施策として反映していただければと思います。

事務局： 「修正なし」とはなっておりますが、いただいたご意見はこれから行政を進めていく上で非常に重要なものと考えておりますので、参考にさせていただきたいと考えております。

委員： 現状に対する意見、それぞれの立場からいろんな意見がいただけたのかなと思っています。パブリックコメントを読んでいて、多様性のある教育・保育が求められているということは、意見をいただいた方もそうですし、意見をいただけていない方についてもいろんな意見を持っておられて、注目されている内容について、今後のあり方として検討されていけばいいと思っています。

この意見書を踏まえてどのような方向性をこれから持っていくのか課題が見つかってきたと思いますが、それに対してどのように施策を提案していくのか、これから示されていく段階に進んでいくのかなと改めて認識しているところです。

修正箇所の1点目については、委員長からもご指摘がありましたように、家庭の教育力の低下だけが虐待の増加につながっているわけではないというのは私も思っていたところで、それがどうして虐待の増加や注目されたのかについても何かの形で入れていけばいいとか、後は、家庭の教育力の低下という言葉も最近よく聞く言葉ですが、どうしてという視点で施策を見つめていくことも今後は大事になってくるのではないかと考えております。

修正箇所の2点目については、小学校との連携についても、就学前施設のあり方とともに、今後の子供たちへの未来につながる教育を考えていく上で、改めて検討されていくものと認識したところです。

委員長： まさに就学前施設での教育と福祉が一体となることが求められているので、宇治市には虐待というところも含めて教育・保育について具体的に取り組んでほしいと考えております。

委員： 公立幼稚園について、いろんな立場の方からのご意見を拝見して、厳しい意見もありましたし、温かいメッセージもありました。いろんなことを重く受けとめなくてはいけないと思いながらパブリックコメントを読んでいました。

感想になりますが、検討委員会においていろんな立場の委員の方が目の前の子

どもたちの幸せを願っているというのはすごく実感したところです。私自身もこれから目の前の子どもたちに対してもそうですが、宇治市全体の子どもたちの幸せを願って、自分たちがしていくべきことは何かについてより良い方法を考えながら進めていきたいと考えております。

委員長： パブリックコメントでも公立幼稚園に対する意見がとても多く寄せられていました。特に卒園した方からは幼稚園教育への信頼と、ただ実際にご自身も通われて保護者のニーズに合っていない部分も感じられているということで、平成28年度の公立幼稚園検討委員会で提言を受けたことに対する取組が全園に広がらなかったことを残念に思う意見が複数見られました。

その点について、今後の公立幼稚園のあり方に関わる場所ですが、実際に公立幼稚園が今まで行ってきた幼稚園教育というものから、すぐには築けないものだと思いますが、それを保てるようなあり方というものを慎重に考えていただければと思います。

意見の中にもありましたが、公立幼稚園の3年保育の実施、駐車場の確保ということがまずは保護者のニーズということで挙げられていましたので、前向きにご検討をいただければと思います。

委員： 感想になってしまいますが、過去に公立幼稚園に子どもを通わせていた方のご意見を読んでいても、公立幼稚園での一人ひとりに合った幼児教育や遊びから、いろんな力をつけて問題を自ら発見して解決する力、生きる力をつける部分など、いい意味で昔から変わっていないところがあり、そういう部分は今後も大切にしてほしいと感じました。

3年保育、長期休暇の預かり保育、駐車場の確保など、ニーズに合った対応をしていただくとともに、広報の仕方なども考えていただき、現在の公立幼稚園を残してほしいという思いがあります。その反面、税金を使っている以上、園児数が減少している現状はしっかり受けとめる必要があります。複雑な思いを持っていますが、どのような形になっても、教職員の方々や保護者、何よりも子どもたちの利益になるような園であってほしいと思っています。

委員長： 意見書の中には、公立幼稚園の機能は残していくべきであると明記されております。公立就学前施設が中心になって公立、私立、民間の垣根なく研修や研究を行うことが1つの使命として挙げられているので、機能を残しつつ、市全体の教育・保育の質の向上に努めていただきたいと思いますと考えております。

委員： いろんな思いがありますが、1つは、パブリックコメントの実施時期が夏休み期間だったこともあり、保護者や関係者の意見が十分に吸い上げられたかどうかという思いがあります。もう1つは、要望や意見を提出するのは不満のある方が多く、

不足を感じていたり、何らかの思いを持っている方が意見を提出されていて、満足されている方がわざわざそのことを述べることは、現実としてまずないのかなと感じているところです。

パブリックコメントの意見にはありませんでしたが、今回の検討委員会では、アンケートを実施し、全園にご協力をいただき、集計結果を報告していただいた経緯があります。そこでは、非常に重要な1つの新しい視点を皆さんと共有できたと感じています。というのは、これまで量の確保ということが言われてきましたが、質はどうかということ、質に迫るようなアンケートを実施し、その集計結果を具体的に読み直すと、子どものことを考えて取り組んでいる就学前施設の実態がたくさん書かれていました。また、保護者からすれば豊かな選択肢があるという評価も書かれていました。

今まで量と質、公立幼稚園で言えば適正規模のことなど言われている中で、宇治市としては、子どもたちの人数や宇治市に暮らしている方々、家庭に対して、広く考えれば、量も質も確保が不十分であると言えないのではないかと思います。言葉を変えれば、もう少し皆さんにご理解をいただければならないかもしれませんが、今宇治市では、どの就学前施設を選んでも子どもにしっかりとした教育・保育、家庭にできる限りの福祉を提供できる質のある就学前施設があるということがアンケートの中から言えるのではないかと感じています。

パブリックコメントの意見1つ1つについてどうかということではなく、宇治市全体が見えたということが非常に重要なポイントだと考えております。意見等に対する考え方を答えていただけており、その中に「検討していきます」「考えていきます」との記述がありますが、考えていただく中にそういう認識を今回共有できたことのプラス面を活かした形で検討を進めていただければありがたいと思います。

委員長： アンケートを総合的に見たときの宇治市における教育・保育の実態や評価のことなどについて話していただきました。

委員： 長い間、今日まで課題としたところの理由というのが、宇治市の公立、私立含めたこととなっていますが、大きな理由は今回のパブリックコメントでたくさんの方が寄せていただいている公立幼稚園、公立のあり方があるというふうに思います。

宇治市に限らず、人口減少が訪れる、しかも今まで以上に予想よりも急速に訪れるということを十分に踏まえることが今回のあり方の中の1つの視点となっているように思います。

私が一番主張し続けてきたのは、公民合わせて一緒にステージに立って研究ができる、つまり、子どもたちがいかに幸せを今から積み重ねて学べる思想を育ていくのが大切であり、今後どのような具体的なあり方になるかはわかりません

が、寄せていただいたパブリックコメントに向くことができるとしたら、より良い質の幼児教育の提供に努めていくことになるのかなと思います。

パブリックコメントの意見と意見書が十分にかみ合っておらず、意見書には抽象的なことしか反映できていないですが、実際の具体のところではがんばっていきたいと考えております。

委員長： パブリックコメントには、意見書は抽象的で曖昧な表現になっているとの指摘がいくつかあったと思いますが、ただ検討委員会の中では、共通する子どもの姿を話し合うような場であったり、どのように子どもの幸せを願うかという子ども像について話し合う場が必要であるとの意見がありましたので、抽象で終わらせず具体的に結び付けるようにしていただき、その時には公立園がぜひ力を尽くしていただければと思っています。

委員： 公立就学前施設（保育所）のあり方として、6ページの14で公立保育園の保育時間の延長を希望したいとの意見があります。

子どもを公立保育所に入所させていますが、仕事をしているので、幼稚園に入れる選択肢がありませんでした。公立幼稚園では全園で午後5時まで預かり保育を試行実施していると書いてありますが、午後5時までしか預かっていただけないとなると、幼稚園に通わせたくても、仕事をしていると選択肢に入れることができないのが現状です。結婚するまでは自分自身が幼稚園に通っていたので、幼稚園に入れたかったのですが、自分もフルタイムで働くとなると親の協力が得られないと幼稚園に通わせるのは難しいと感じました。

現在通わせている保育所でも開所時間が午後6時30分までなので、会社の方に配慮していただいた上で、絶対に間に合う時間に帰していただいておりますが、時間どおりに帰れないとなるとお迎えに間に合うかどうかギリギリになるときもあります。

保育所に通わせていることから共働きの家庭しか周りにはいないのですが、宇治市で子育てしやすいことをアピールするのであれば、フルタイムで働く方たちにも子どもを預けやすいようにしていただければと思います。

意見等に対する考え方についても「検討します」という回答が多いですが、意見を提出している方は早急に対応してほしいと考えていると思いますので、フルタイムで働く方への配慮をお願いできればと思います。

委員長： パブリックコメントでも幼稚園に入れたいけど選択肢に入らないという意見もありましたが、潜在的に本当は幼稚園に入れたいとか、幼稚園、保育園に関係なくこの園に入れたいという方たちがいる中で、自分の就労形態で選ばざるを得ない状況もあるかと思っていますので、具体的な施策として示していただければと思います。

また、教育・福祉関係なくここに行けばいろんな子育てのことが聞ける窓口があれば、保護者にも子育てのしやすさを感じることができるのではないかと思いますので、ぜひご意見を受けとめていただければと思います。

委員： 貴重なご意見を真摯に熱心に書いていただいている方が多くて驚いたというのと、公立幼稚園に対しては3年保育や預かり保育などの提案やそのまま残してほしいという意見もあり、あり方について自分の子どもを通わせていて感じているところの思いを述べていらっしゃるのかなと思いました。

子育てしやすいまちを宇治市としてアピールしてはどうかと書いていただいている方もいらっしゃいましたが、意見書はどうしても一般論でしか書けないところがあるので、具体的にやろうとしていることを市民の方々に見える形として示していくには、日々いろんなところでアピールしていくことが大事だと改めて感じたところです。いろんなところで発信していただければ理解が深まるのではないかと感じました。

委員長： 検討委員会でも、保幼小連携や特別支援教育のことが保護者に届いていないという意見がありました。課題だと思います。特別支援の窓口を開いていて、個別支援シートなども作成していると聞いていますので、ニーズのある子どもや保護者に発信、アピールをしていただければ、宇治市がより子育てがしやすいまちとして見えてくるのではないかと思います。

委員長： 皆様ご意見ありがとうございました。意見書(案)及びパブリックコメントで寄せられた市民の皆様からのご意見に対する考え方のところにつきましては、事務局で修正を図り、私と事務局で調整の上、確定をするという形で進めたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

異議なし

3 その他連絡事項

委員長： 確定した意見書につきましては、後日市長へ提出することとなります。その意見書の提出日程等につきまして、事務局から説明をお願いします。

・事務局より市長への意見書の提出日程等について説明

4 閉会

委員長： 委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。

この検討委員会は、4月26日を最初に約4か月間、合計5回にわたり開催をさせていただきます。

約1カ月弱に1回程度の割合で検討委員会を開催させていただいたこととなり、非常にタイトなスケジュールの中ではありましたが、委員の皆様からは、毎回熱心で忌憚のないご意見をいただき、検討委員会を開催することができました。

教育、福祉、子育て施策を充実させることが、宇治市が子育てしやすいまちとして注目を集めるきっかけになると思いますので、検討委員会の意見書を具体的な政策に結び付け、絵に描いた餅とならないように、子育てしてよかったと思ってもらえるまちになるように期待しています。

委員の皆様、本当にありがとうございました。

閉会にあたり松村市長からご挨拶をいただきたいと存じます。よろしく申し上げます。

・松村市長より挨拶

委員長： ありがとうございました。

以上をもちまして、検討委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。